

吹田ラグビースクール指導の考え方について

指導委員長 村田

2025年度はエディーJAPANの活動が本格化し、吹田RSのOBである矢崎選手（早稲田大学）の活躍が取り上げられた年になりました。また、大学シーンでは吹田RSのOBの選手がたくさん活躍していた年でもあったと思います。指導員の皆さまには変わらず子ども達に吹田RSの根っこを持って指導していただき感謝申し上げます。また保護者の皆さまにおかれましても、継続してスクール活動へご理解・ご協力いただきありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

2026年度においても、吹田ラグビースクールの関係者全員で、子ども達を真ん中にして活動していきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【吹田RS指導の考え方の根っこ（不変）】

テーマ：安全なプレー = 正しいプレー = 強いプレー

指導員3大ミッション（全学年統一）

- 安全にプレーさせるために、正しいプレー・ルールを理解して指導する
- 子ども1人ひとりに目を向け、こどもの成長に合わせて指導する
- 指導員自身の成長が、こどもの成長に大きく影響することを理解して指導する

【2026年度主な取り組み】

○1年間の目標設定と心理的安全な関係作り

1年間の目標を話しあい、目標達成に向けた計画を設定しましょう。特に高学年や中学部は子ども達とも目標を確認してもらうことが大事です。

また、指導員と生徒、指導員同士、指導員と保護者の関係において、心理的安全な関係作りに努めて、みんなが同じ目標をもって取り組めるような関係構築に努めましょう。

○1人ひとりにあった指導

子ども1人ひとりに目を向けて、その子がどうすれば成長できるかを考えて指導しましょう。

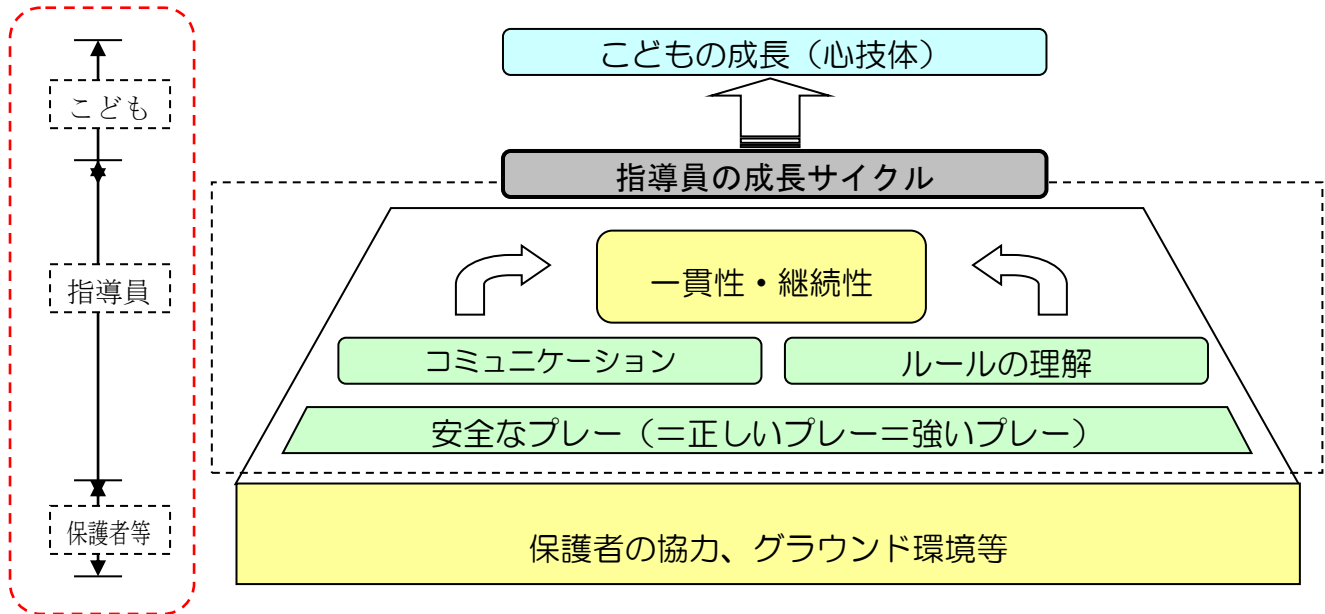
○安全特化メニューの継続

吹田RSの根っこである安全なプレーに、全指導員がこだわりを持って指導しましょう。

安全にプレーするために下記のポイントを意識した練習を考えましょう

安全において求めるプレー	実践のためのポイント
◎頭を強打しない <ul style="list-style-type: none"> ・頭を下げない ・顔が逃げない ・姿勢を真っすぐ 	◇頭を下げないためには <ul style="list-style-type: none"> ⇒相手を見る ⇒肩ではなく胸を相手の胸より下に当てる ⇒そのためには前を見て低くなる（尻を下げる） ◇顔が逃げないためには <ul style="list-style-type: none"> ⇒相手を見る ⇒自分の耳を相手の体（腰付近）に密着させる ◇姿勢を真っすぐにするには <ul style="list-style-type: none"> ⇒足を真っすぐ踏み込む
◎ケガをしない倒れ方 <ul style="list-style-type: none"> ・頭を打たない ・手をつかない 	◇頭を打たないためには <ul style="list-style-type: none"> ⇒倒れるときにおへそを見る ⇒体を横に向ける ◇手をつかないためには <ul style="list-style-type: none"> ⇒お尻や体の側面から倒れる

<こどもを成長させるための取組みイメージ>



《心理的安全性が高く、目標にチャレンジできる関係性構築》

※心理的安全性とは
メンバー（プレイヤー・コーチ）同士が健全に異見（異なる見解）ができる。チームの中で自分の考えや気持ちを誰に対してでも安心して、勇気をふりしぼることなく発言できる状態を言います。

		責任・挑戦レベル	
		低い	高い
心理的安全性	高い	快適 (仲良しグループ)	学習 (自立成長)
	低い	無気力	不安 (ギスギス感)